

脱グローバリズムで日本と世界が成功するための戦略とは

1、そもそも「ディープ・ステート」とはどういう人たちか？

国境の制約を受けずに生活し、仕事をしている人たちの世界
彼らは世界に「ルール」を押し付けることで生き続けている
善のグローバリズムと悪のグローバリズムがあるのか？

2、太古の昔から世の中には定住民と漂泊民がいる

お互いに未開人、悪党・海賊と罵りあって歴史を刻んできた
定住民を基礎にした国家が拡張、侵略するとどうなるか
漂泊民が連携して世界に拡張、侵略するとどうなるか

3、グローバリズムは世界をいかに変えてきたか

世界の人口爆発と近代文明の世界への広がり
グローバリズムの勃興、成熟、衰退、消滅の推移
なぜいまグローバリズムが世界に害を及ぼしているのか

4、ルールの押し付けではない世界の連携とは自立と連帯

「立て分け」で時代遅れの価値観が退場した後に見える世論の新潮流
人為的なルールではなく、複雑系が生み出すカオスとフラクタルが基本
人類はどうすれば統合、融合された新しい世界の潮流を生み出せるのか

5、千里の道も一歩から

まず変化は自分の足元から。二宮尊徳の「報徳」、「一円融合」のすごさ
本物の信仰心がないと前も後ろも何も見えない。だから悪にしかない
天産自給、適地適作、地域経済圏、信仰を中心にした生活と仕事

6、では、何をすればよいのか

時代は渦を巻く。渦の中心、渦の内側、渦の外側。自分で場所を選ぶ必要
直感と縁を大切に、何事も向上心を持って継続すると革新と改善を生む
まさに人こそ「自然栽培」で育てれば生活も仕事も落ち着いてくる